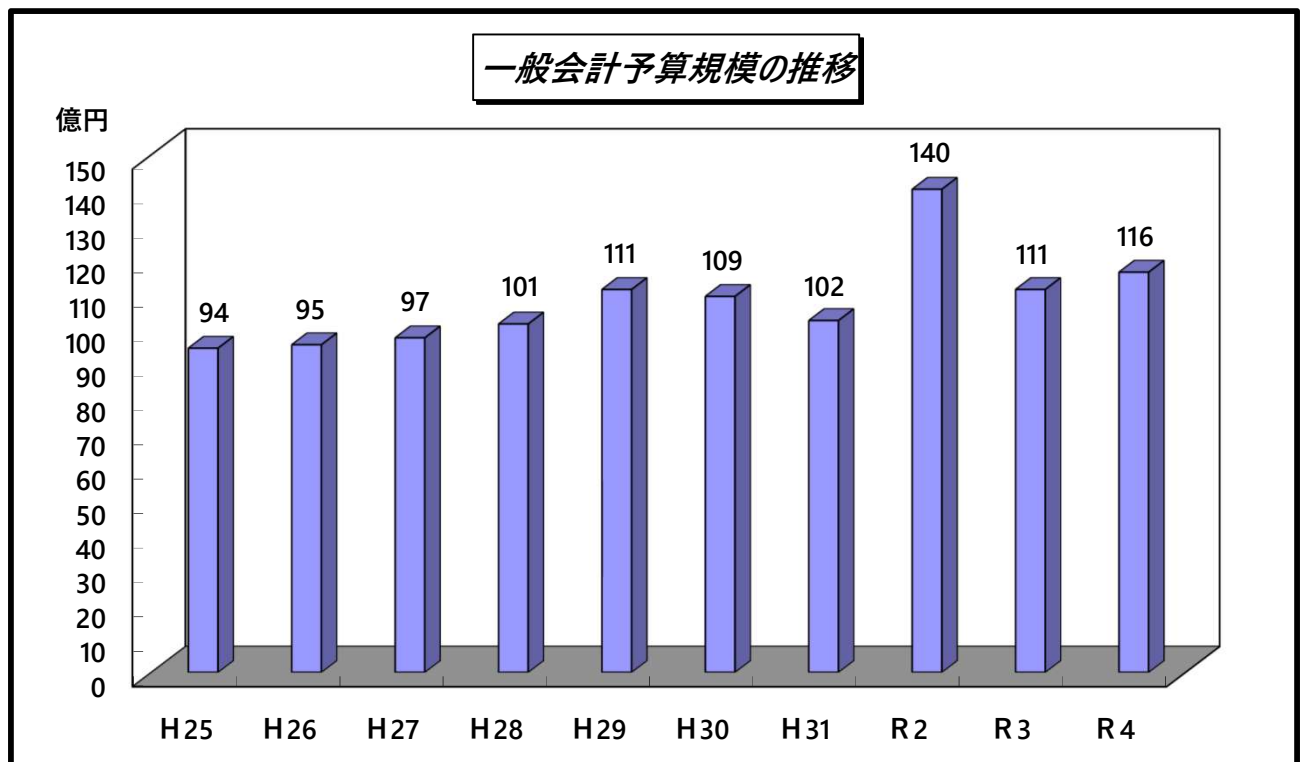


令和4年

グラフで見る財政状況



美幌町

目 次

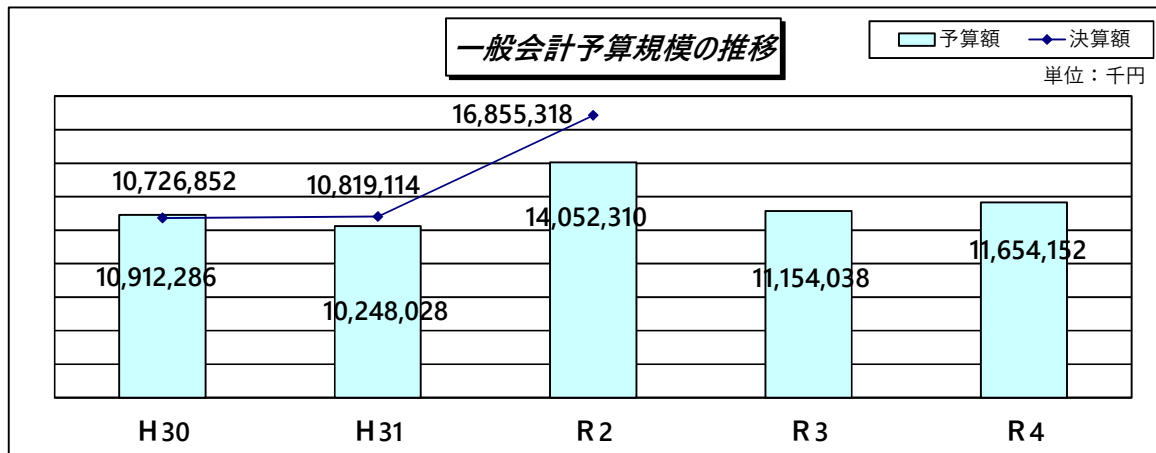
1	各会計予算規模の推移	1
2	令和4年度一般会計歳出予算の科目別配分状況	3
3	令和4年度一般会計歳入予算の内訳	4
4	町税の推移と内訳	5
5	管内市町村との税収の比較	5
6	標準財政規模と地方交付税額	6
7	基準財政収入額及び基準財政需要額の推移	7
8	地方交付税の推移	7
9	投資的経費の推移	8
10	町債の償還額と借入額の推移	8
11	各会計の町債残高の状況	8
12	管内市町村の町債と基金残高の状況	9
13	財政状況	10
14	人件費の状況	13
15	人口及び世帯数の推移	14

おわりに

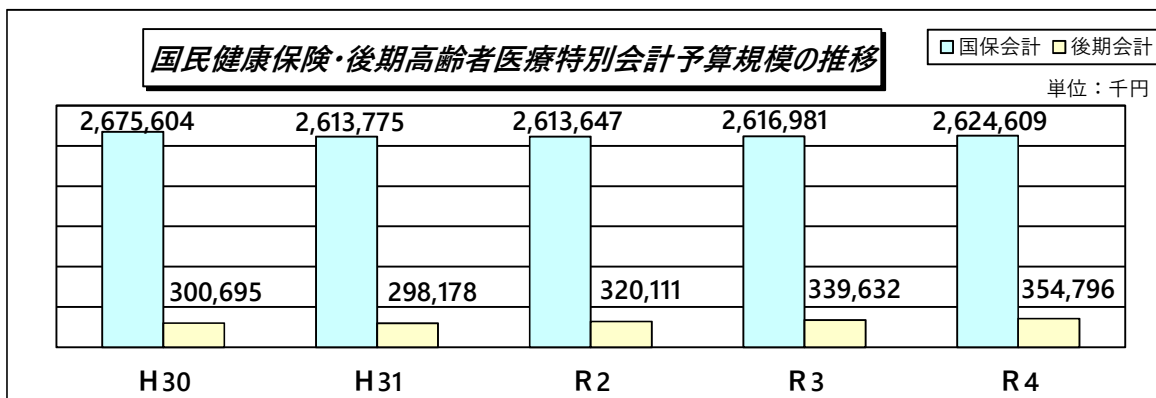
1 各会計予算規模の推移

令和4年度においては、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策のほか、町長重点政策や第6期美幌町総合計画の基本目標に基づく重点課題等を整理のうえ、必要な予算を計上するとともに、国が推進する「デジタル」「脱炭素」に対応した社会の実現のため、関連する経費を新たに予算計上しました。

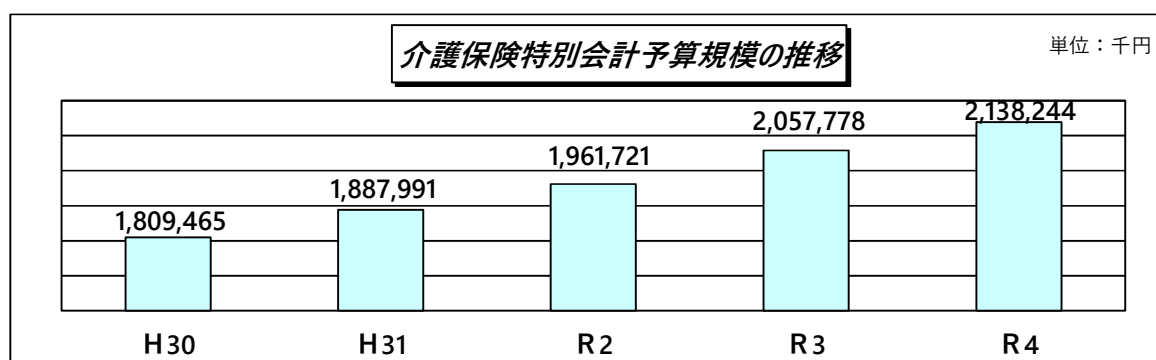
その結果、一般会計は116億5,415万2千円、対前年比5億11万4千円、率で4.5%の増、特別会計62億8,850万8千円、企業会計35億2,334万5千円となり、全会計で214億6,600万5千円、対前年比1億9,041万4千円、率で0.9%の増となりました。



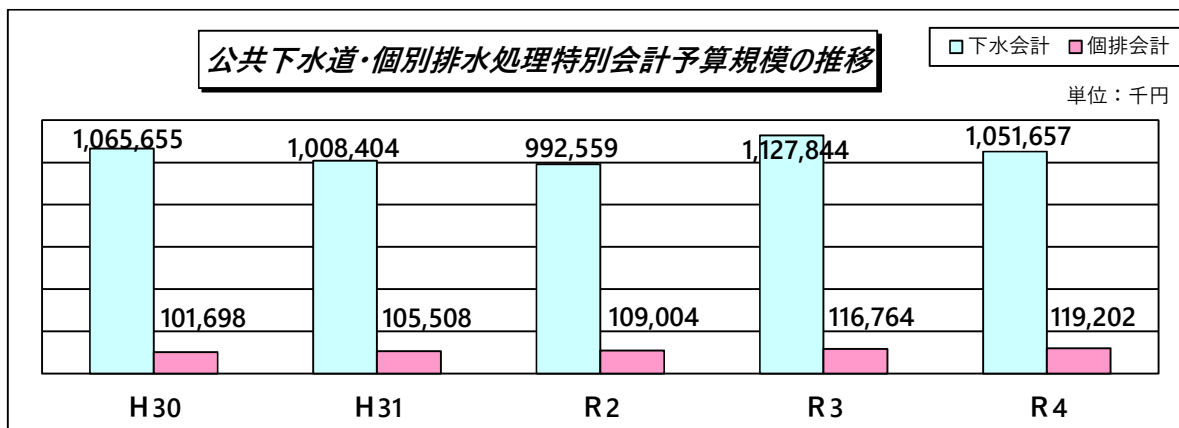
国民健康保険特別会計は、保険給付費（療養給付事業）の増などにより、対前年比0.3%増の26億2,460万9千円、後期高齢者医療特別会計は、後期高齢者医療広域連合負担事業費の増などにより、対前年比4.5%増の3億5,479万6千円を計上しました。



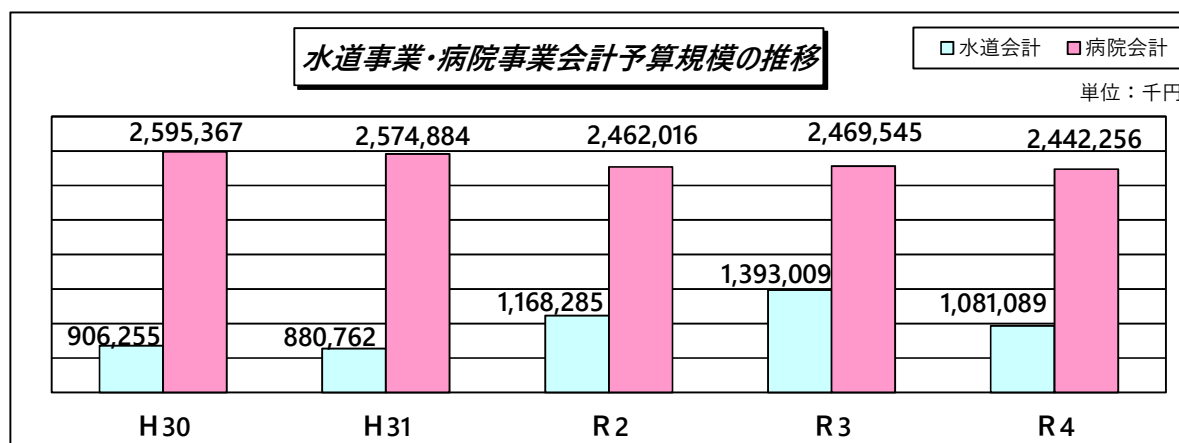
介護保険特別会計は、保険給付費（居宅介護・施設介護サービス給付事業）の増などにより、対前年比3.9%増の21億3,824万4千円を計上しました。



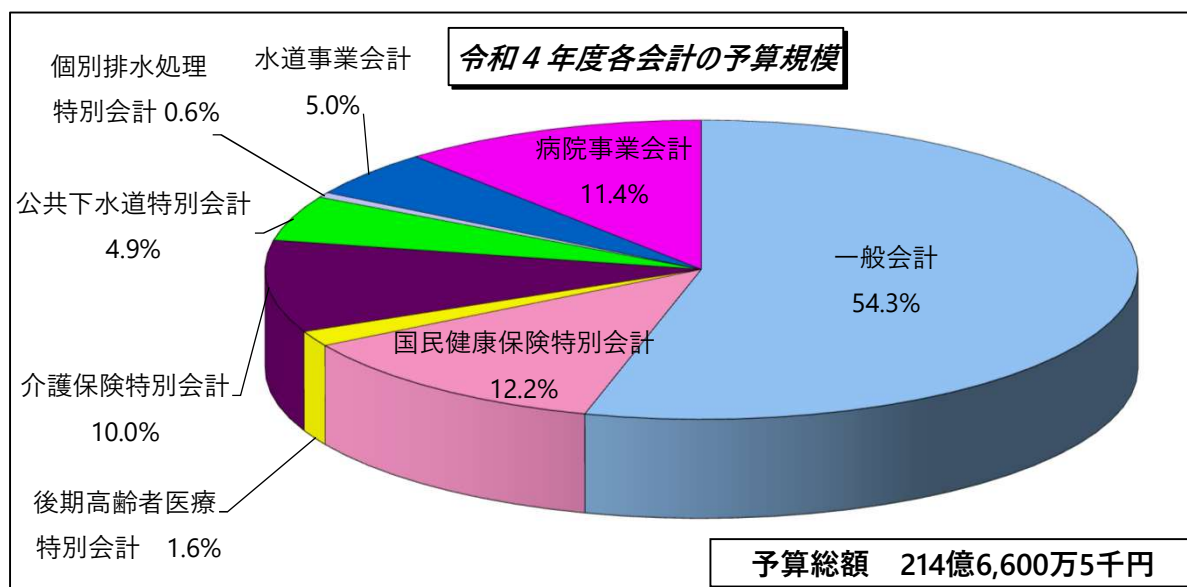
公共下水道特別会計は、建設事業費（終末処理場受変電設備更新工事）の減などにより、対前年比6.8%減の10億5,165万7千円、個別排水処理特別会計は、公債費（元金償還金）の増などにより、対前年比2.1%増の1億1,920万2千円を計上しました。



水道事業会計は、建設改良費（水道施設・管路整備事業）の減などにより、対前年比22.4%減の10億8,108万9千円、病院事業会計は、企業債償還金の減などにより、対前年比1.1%減の24億4,225万6千円を計上しました。



令和4年度美幌町各会計の予算規模の割合は次のようになっています。



2 令和4年度一般会計歳出予算の科目別配分状況

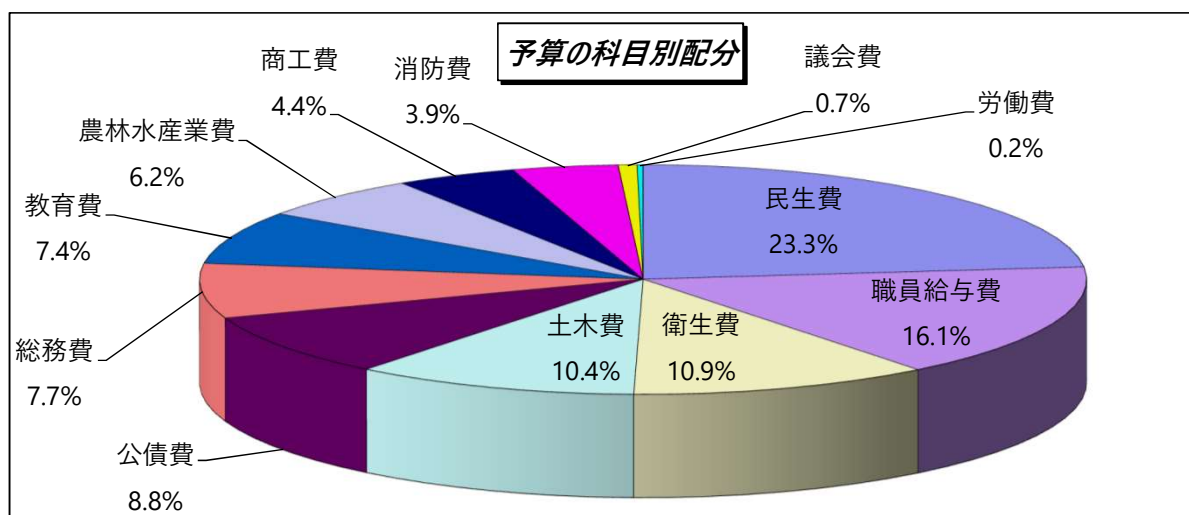
令和4年度と令和3年度の一般会計予算の歳出を科目別に比較しました。

令和4年度は民生費が最も多く、次いで職員給与費の順になっています。

衛生費について、次期廃棄物処理施設の整備や新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費等の計上により、令和3年度から増額となっています。



令和4年度の各科目ごとの配分は次のようになっています。



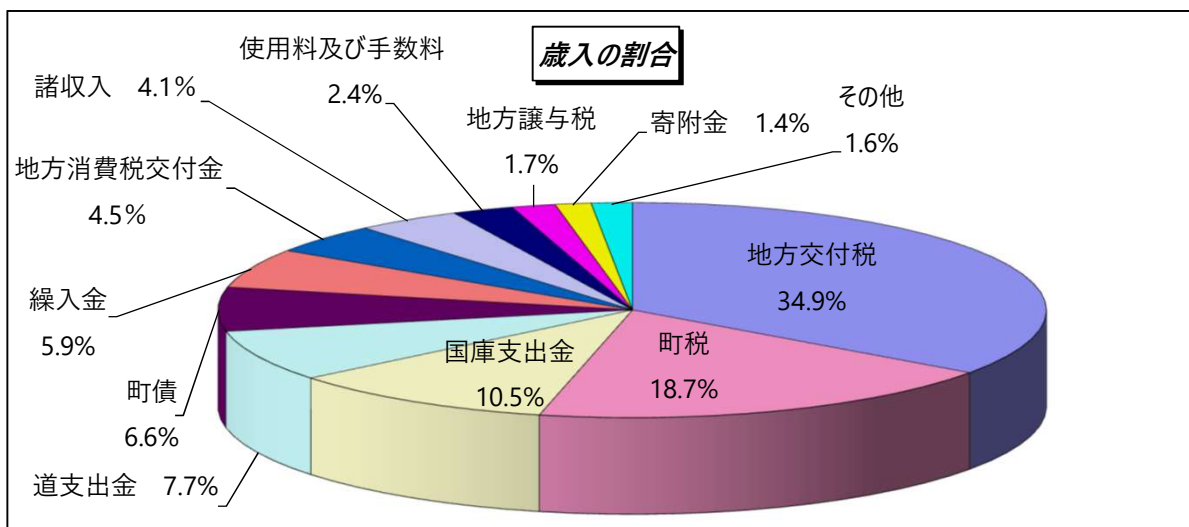
3 令和4年度一般会計歳入予算の内訳

町の収入で一番多いのは、国から配分される地方交付税で40億7,000万円、次いで町税21億8,086万円、国庫支出金12億1,883万1千円の順になっています。

町債は、交付税措置の有利な町債を活用しながら、公共施設等の整備をはじめ各事業に充当する財源として、7億7,064万7千円を計上しています。

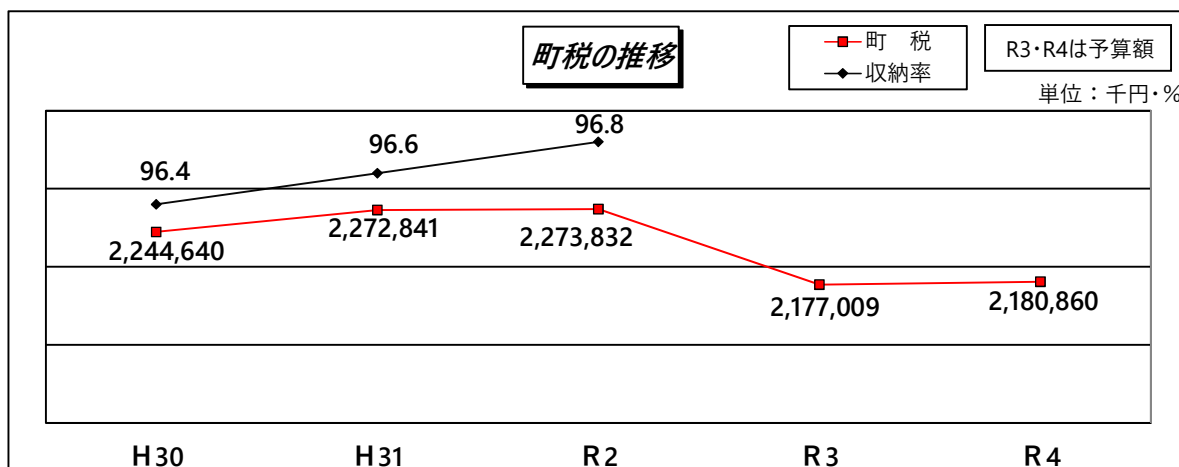


各科目の歳入総額に占める割合は、次の円グラフのとおりです。

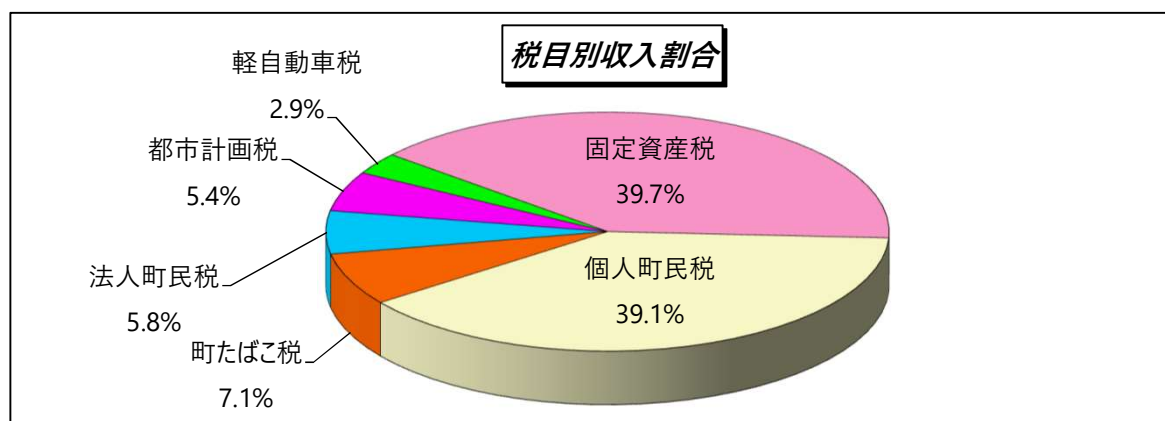


4 町税の推移と内訳

町税の推移は次のとおりであり、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響などによる個人町民税の減や固定資産税などの増により、対前年比0.2%増の21億8,086万円の予算額となっています。
自主財源である町税の収納率向上に向け、引き続き収納体制の強化に取り組んでいきます。

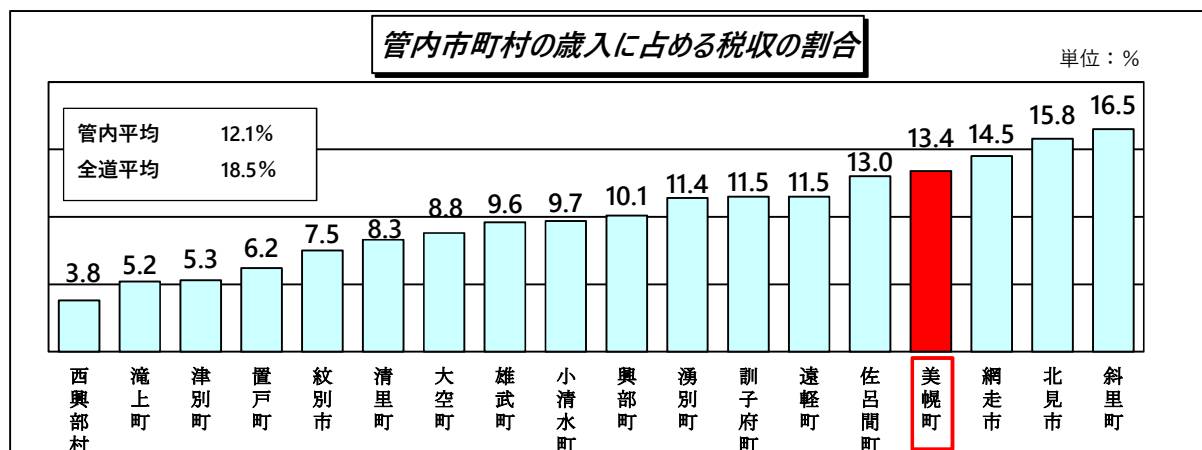


町税の内訳（令和2年度決算）は、固定資産税が39.7%を占めており、次いで個人町民税39.1%、町たばこ税7.1%、法人町民税5.8%、都市計画税5.4%、軽自動車税2.9%の順になっています。



5 管内市町村との税収の比較

歳入に占める税収の割合を令和2年度決算で比較してみると、13.4%とオホーツク管内市町村の中で4番目に高い割合となっています。



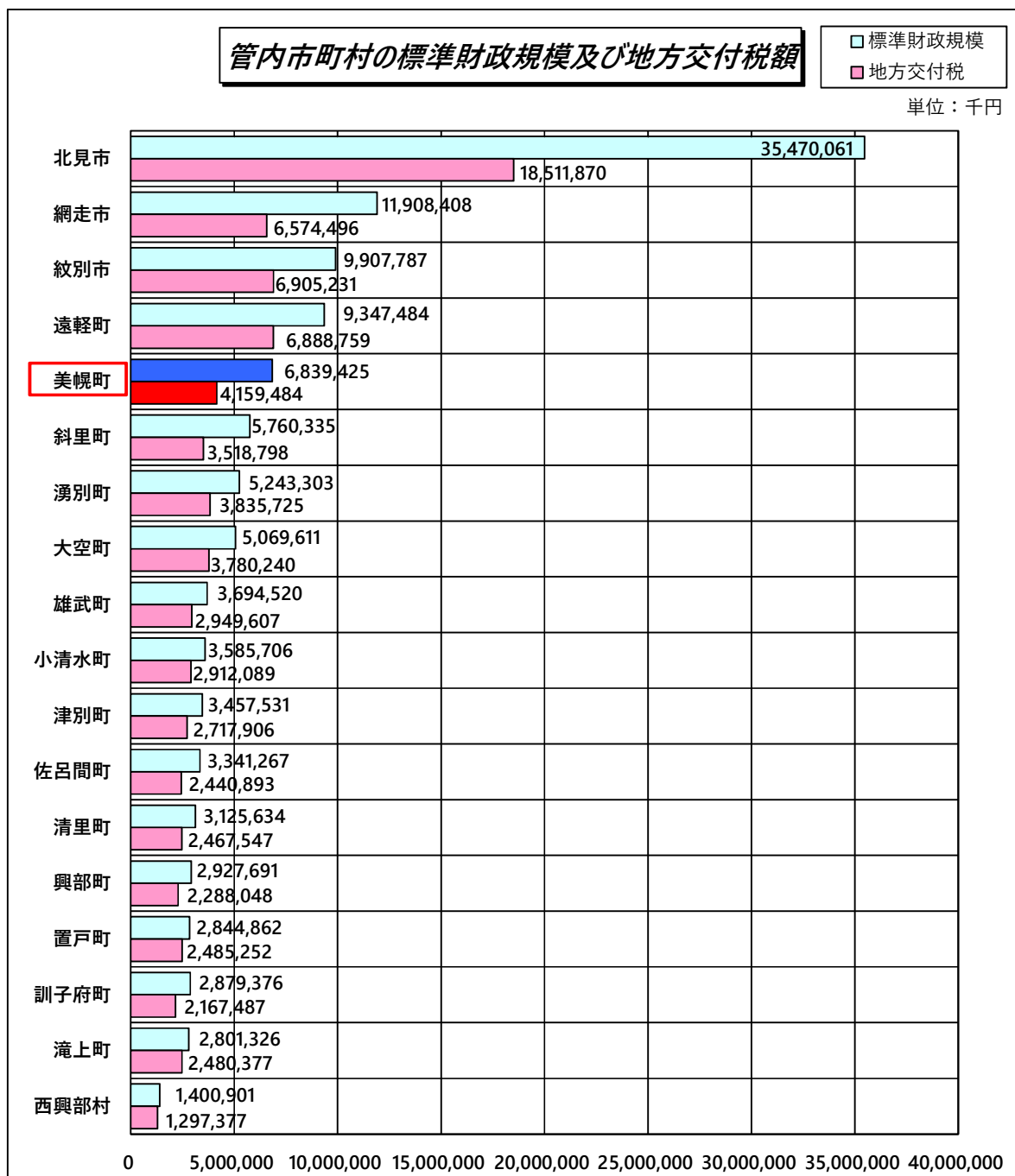
6 標準財政規模と地方交付税額

令和2年度の標準財政規模（地方交付税や町税など使い道が特定されていない収入の規模）と地方交付税額を表しています。

管内市町村の標準財政規模は、北見市が354億7,006万1千円と最も高く、美幌町は68億3,942万5千円と、3市1町（遠軽町）に次いで5番目となっています。

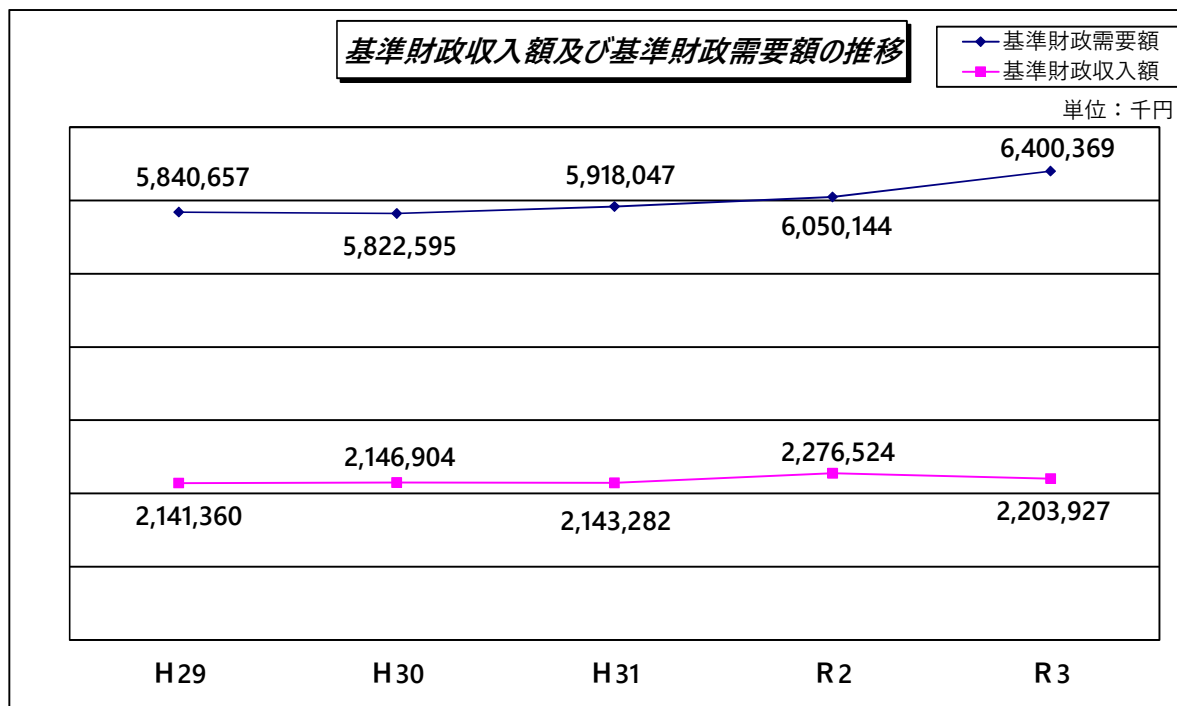
一方、管内市町村の地方交付税額では、北見市が185億1,187万円と最も高く、美幌町は41億5,948万4千円と5番目となっています。

なお、全道で泊村だけは、基準財政需要額（必要最低限の水準である一般的な行政サービスに係る経費）より基準財政収入額（町税等の収入額）が多いことから、地方交付税のうち普通交付税が交付されていません。



7 基準財政収入額及び基準財政需要額の推移

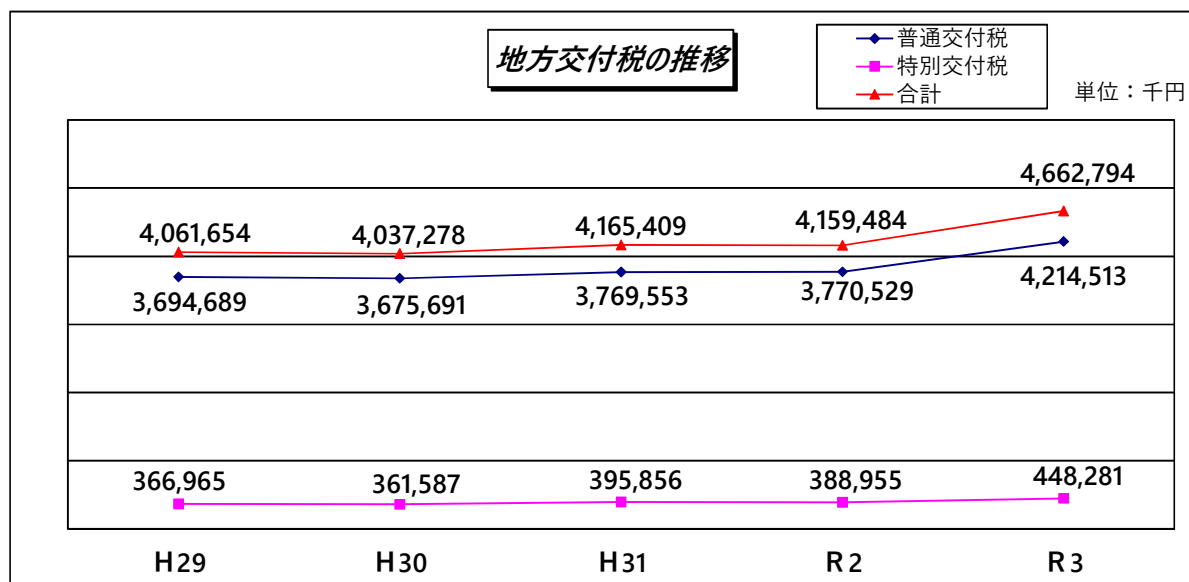
基準財政収入額とは、個々の地方公共団体が、標準的な状態において収入が見込まれる町税などを一定の方法によって算定した額を表し、基準財政需要額は、個々の地方公共団体が標準的な水準で行政を行うために必要な経費を一定の方法によって算出した額を表します。この差額が、地方交付税（普通交付税）として国から交付されます。



8 地方交付税の推移

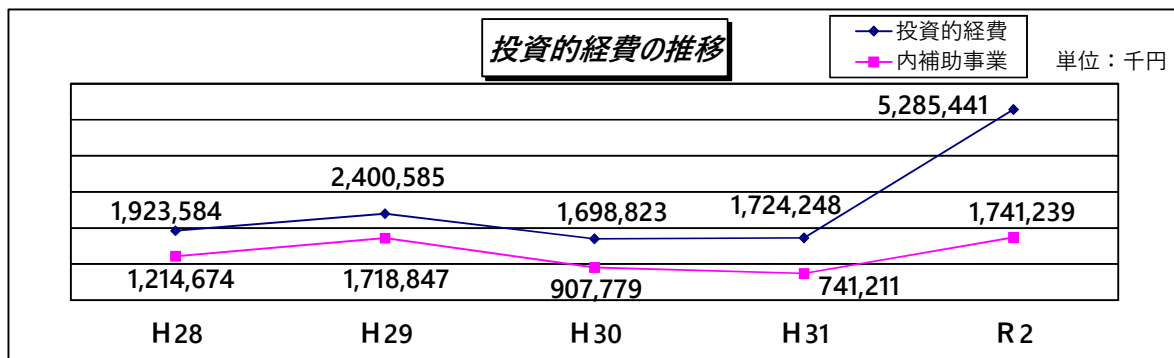
地方交付税は、普通交付税と特別交付税の2種類に区分され、普通交付税は基準財政需要額が基準財政収入額を超える分について、地方公共団体に対し交付されるものです。

特別交付税は、その年に生じた災害等特別の事情により多額の経費がかかる財政需要に反映させるために、交付税総額の6%の範囲内で交付されます。



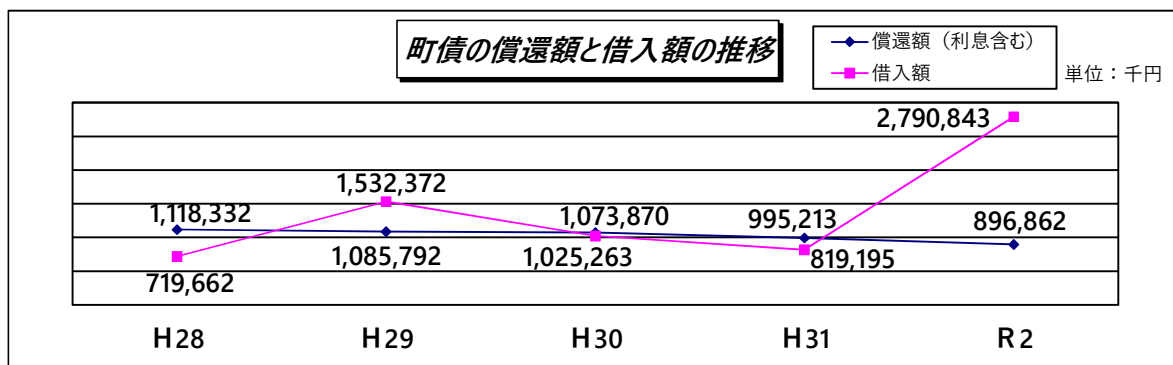
9 投資的経費の推移

投資的経費（普通建設事業、災害復旧事業等）の推移をグラフにしました。令和2年度は、主に役場庁舎改築に要する経費の増により大幅増となっていますが、今後も、事業の必要性、優先度、事業効果などを十分検討し、後年度への財政負担を考慮しながら、必要な事業を推進します。



10 町債の償還額と借入額の推移

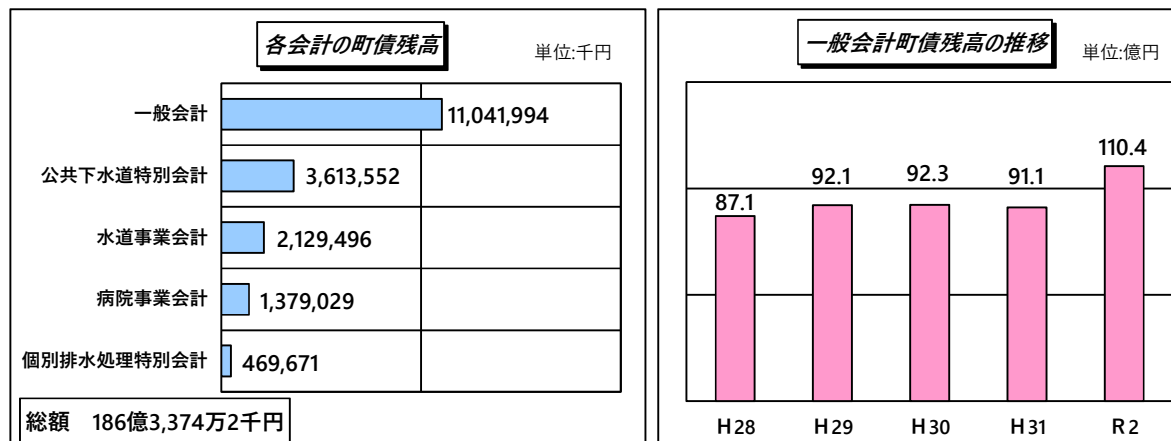
町債（借金）の償還額は、公的資金補償金免除繰上償還（低利率の町債への借換）や新規発行の抑制により、平成16年度をピークに毎年減少しています。令和2年度は、役場庁舎建設事業の増などにより前年度より借入額が大幅に増加していますが、今後も事業の優先度や緊急性、後年度への財政負担を考慮しながら、将来にわたって持続可能な財政運営に努めます。



11 各会計の町債残高の状況

町債残高は、令和2年度末で美幌町全体で186億3,374万2千円となっています。

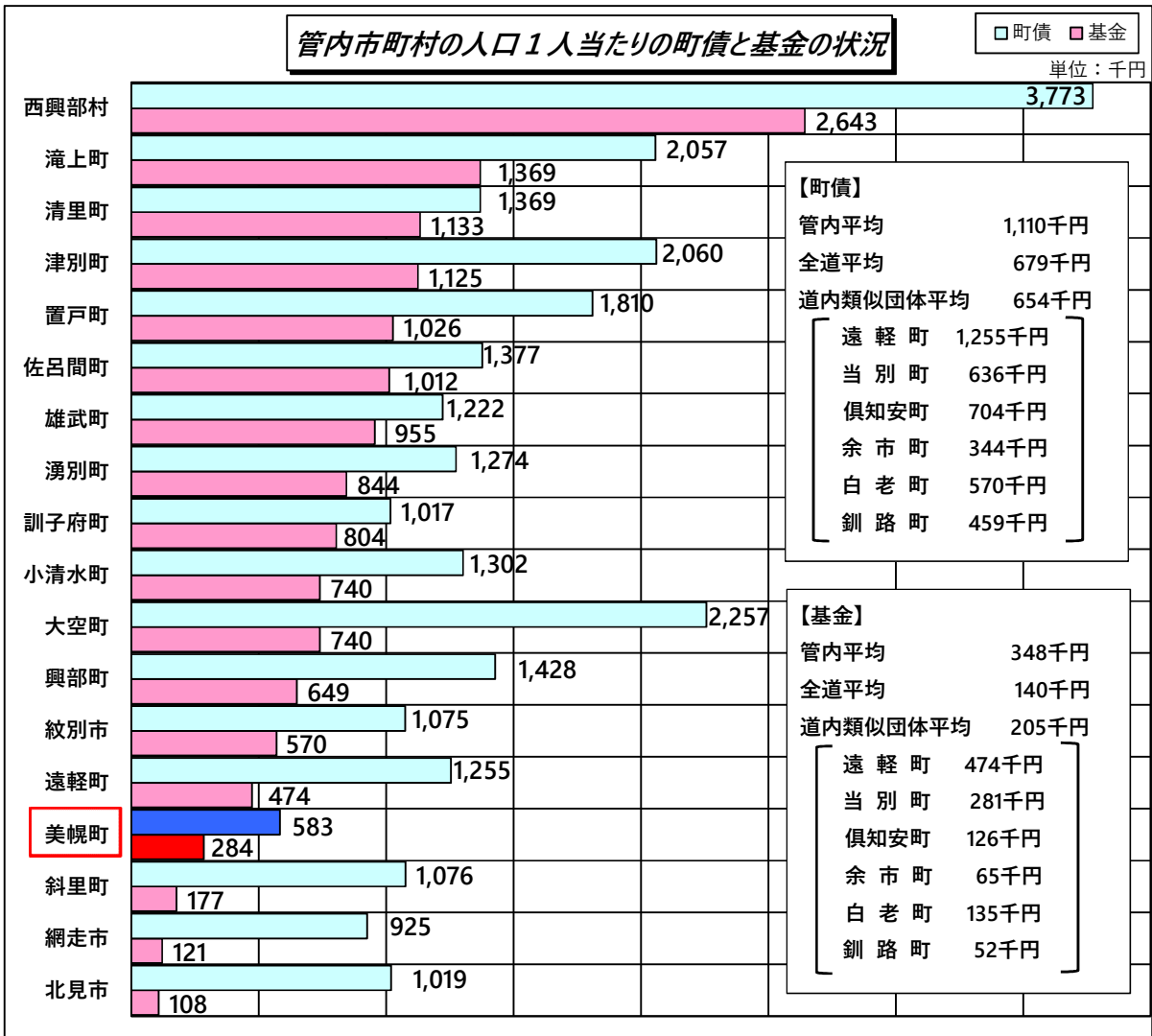
1世帯当たりでは224万3千円(前年度197万3千円)、人口1人当たりでは98万4千円（前年度88万5千円）となります（令和3年1月1日現在の世帯数・人口より）。ただし、町債の中には地方交付税で補てんされる分があるため、借入金額がそのまま町民の負担となるわけではありません。



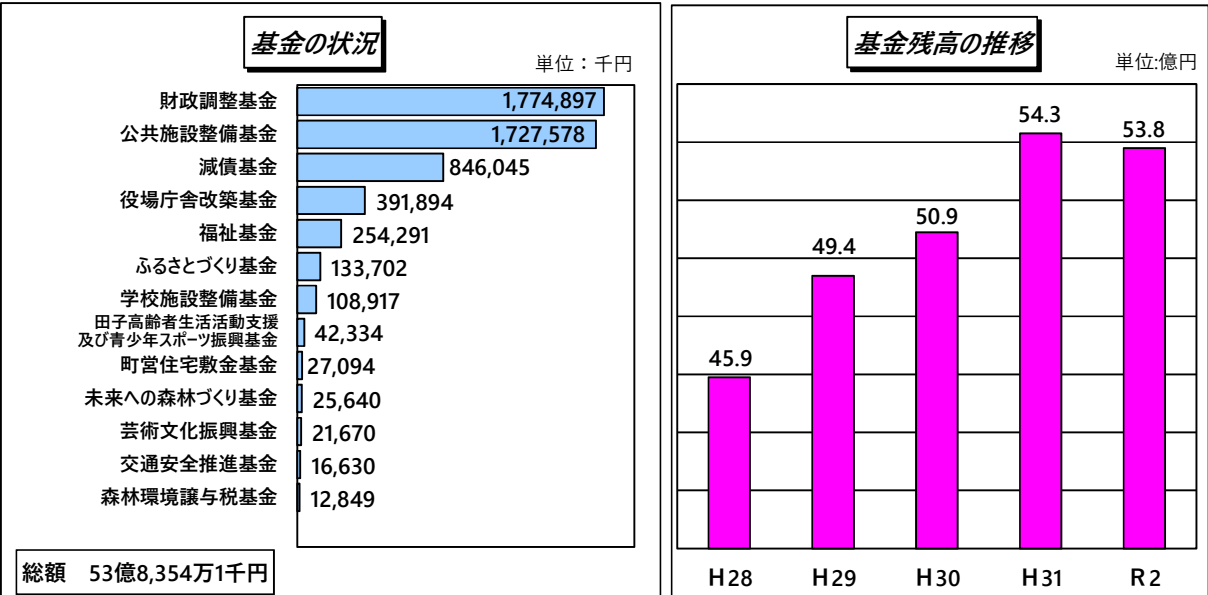
12 管内市町村の町債と基金残高の状況

令和2年度決算の管内市町村の一般会計における人口1人当たりの町債（借金）と基金（貯金）の残高は、次のとおりです。町債は58万3千円、基金は28万4千円となっており、町債は管内の市町村で一番低く、基金の額は15番目となっています。

※一般会計分。人口は令和3年1月1日住民基本台帳人口による



美幌町の基金の種類と金額は、令和2年度末で次のようになっています。



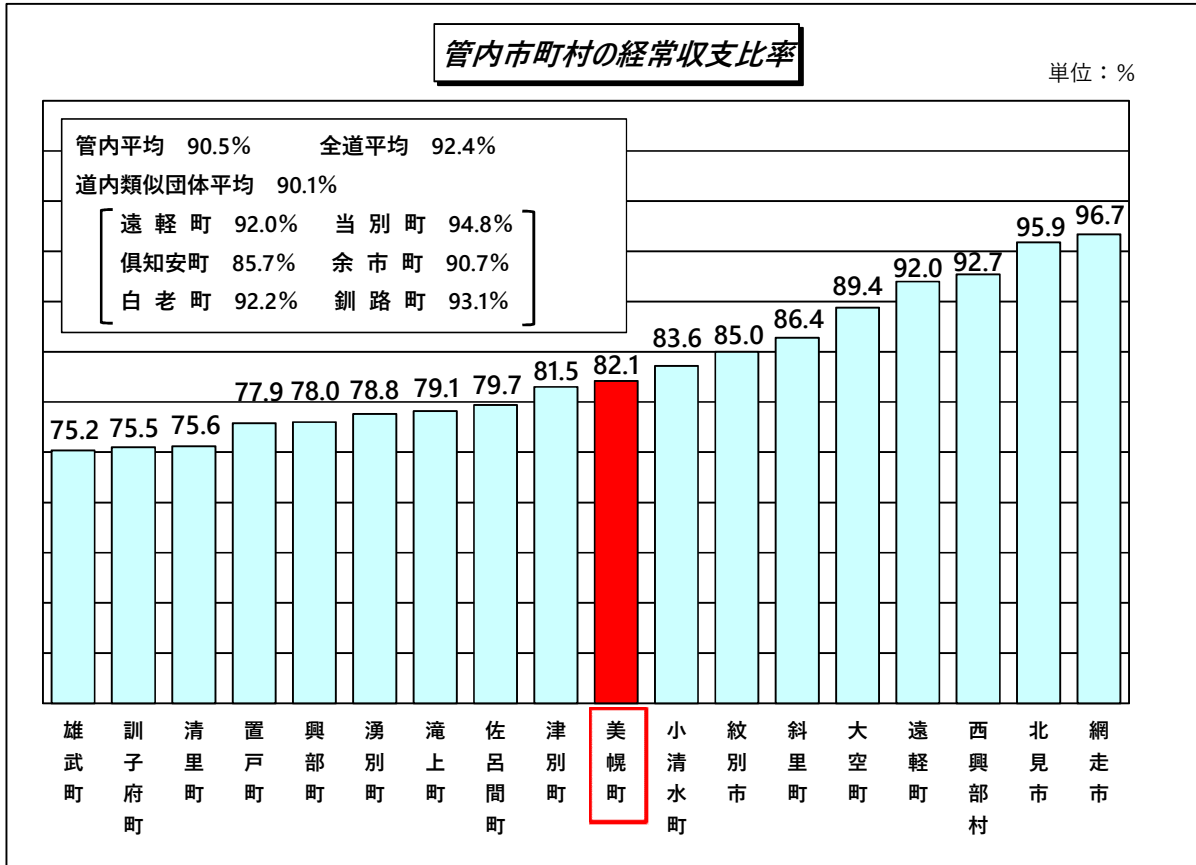
13 財政状況

○ 経常収支比率の状況

財政状況を把握するための指標の一つに「経常収支比率」があります。これは、人件費や施設維持管理費など毎年決まって支出する金額（経常経費）を、町税や地方交付税など毎年決まって入ってくる金額（経常的収入）で割り返したものです。

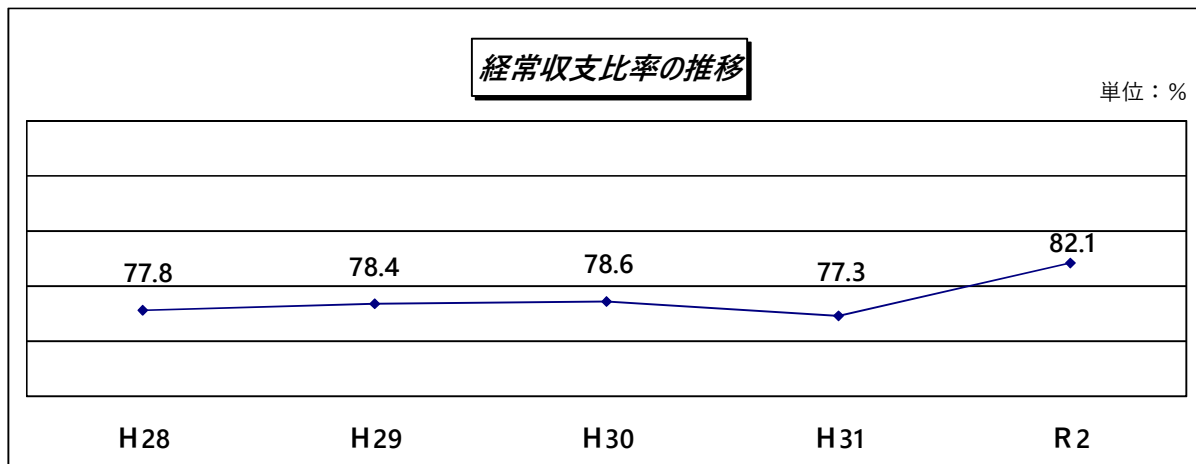
例えば、この比率が80％であれば、その年に自由に使えるお金は20％となります。したがって、この比率が低いほど、様々な事業にお金を使えるということになります。

令和2年度の管内市町村の状況は次のグラフのとおりですが、美幌町は82.1％となっており、管内平均（加重平均）の90.5％より低い値となっています。



美幌町の経常収支比率の推移は、次のとおりとなっています。

今後もさらなる経常経費の抑制と税收等の財源確保に努めます。

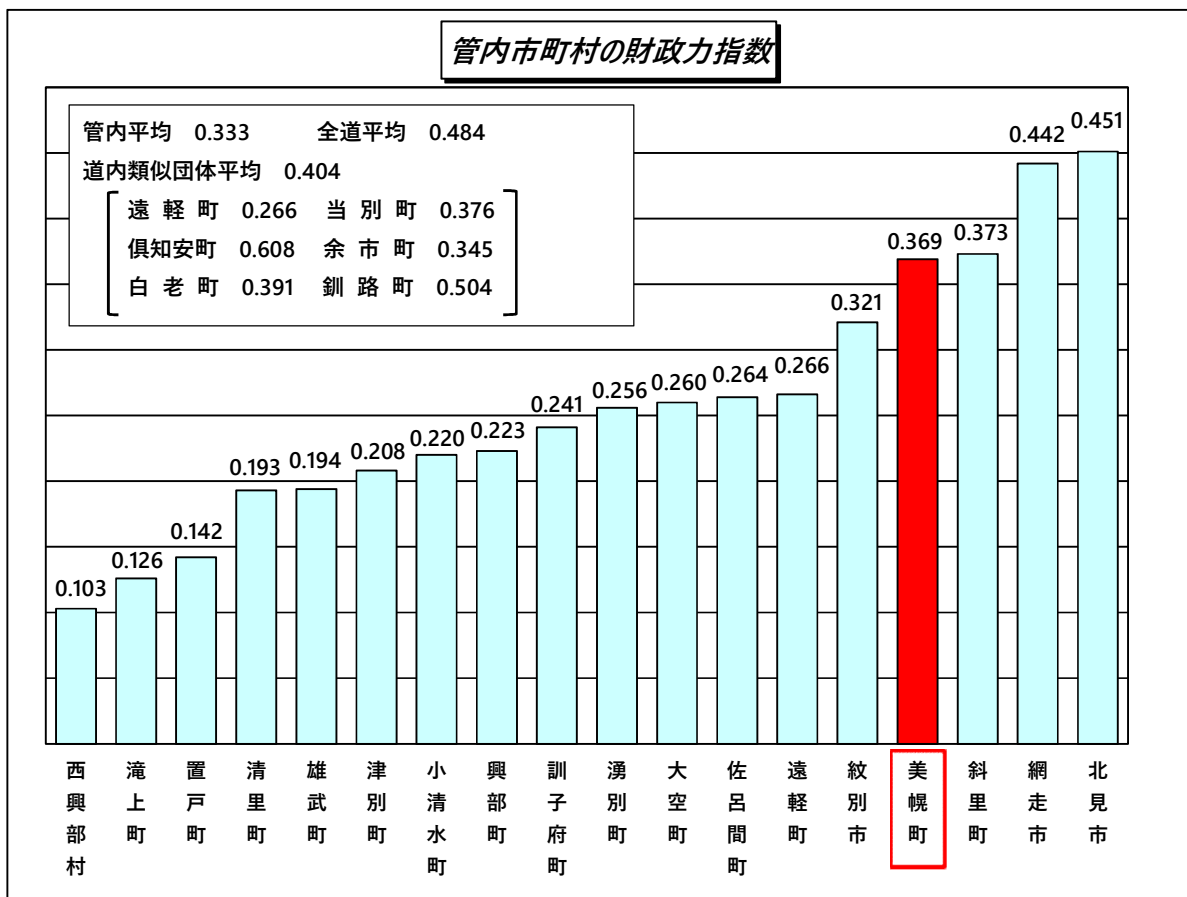


○ 財政力指数の状況

その町の人口や面積に応じて標準的にかかるお金に対して、標準的な状態において収入が見込まれるお金がどの程度であるかを示す目安が「財政力指数」です。

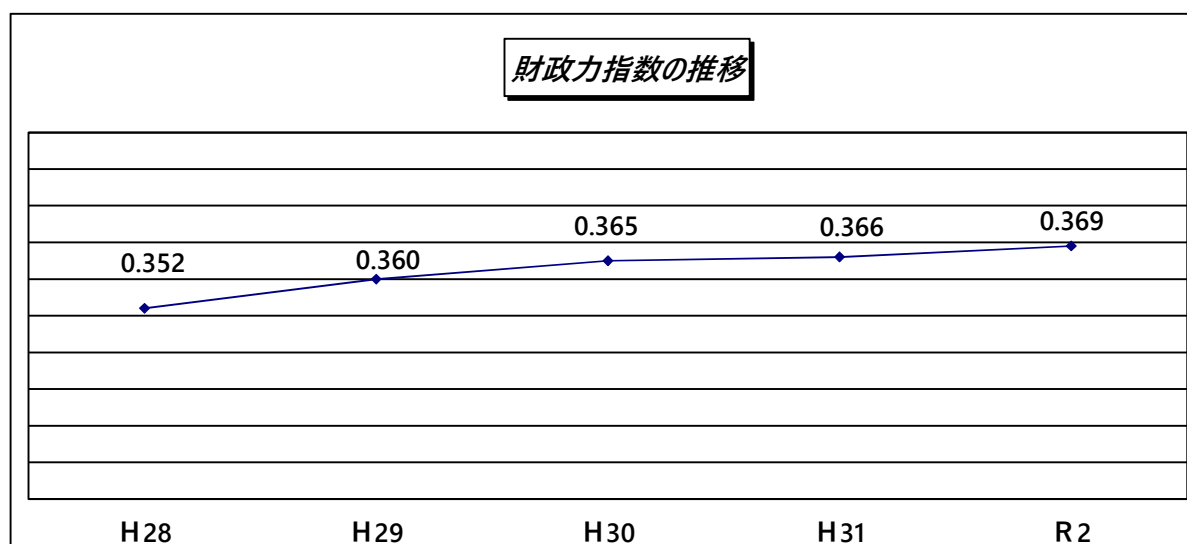
これは、町の体力を計る基準となるもので、例えば、指数が1であれば100%自分たちのお金で運営できており、0.5であれば経費の半分を自分たちのお金でまかなっていることになります。

令和2年度の管内市町村の状況は次のグラフのとおりですが、美幌町は0.369で管内平均（加重平均）の0.333より高く、北見市、網走市、斜里町に次いで4番目となっています。



美幌町の財政力指数の推移は、次のとおりとなっています。

過去の最高数値は昭和59年の0.406ですが、近年は0.35～0.37の間で推移しています。



○ 公債費負担比率の状況

一般財源収入総額のうち、公債費に充てられた一般財源の割合を示す指数で、15%を超えると警戒ライン、20%を超えると危険ラインと言われています。令和2年度決算では、美幌町は10.4%となっています。

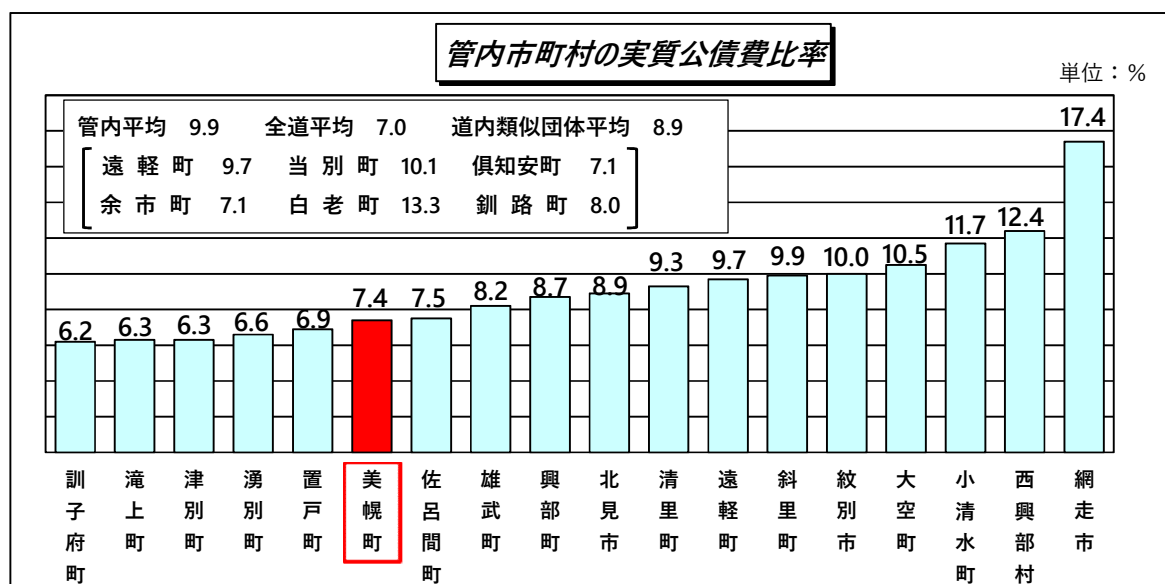
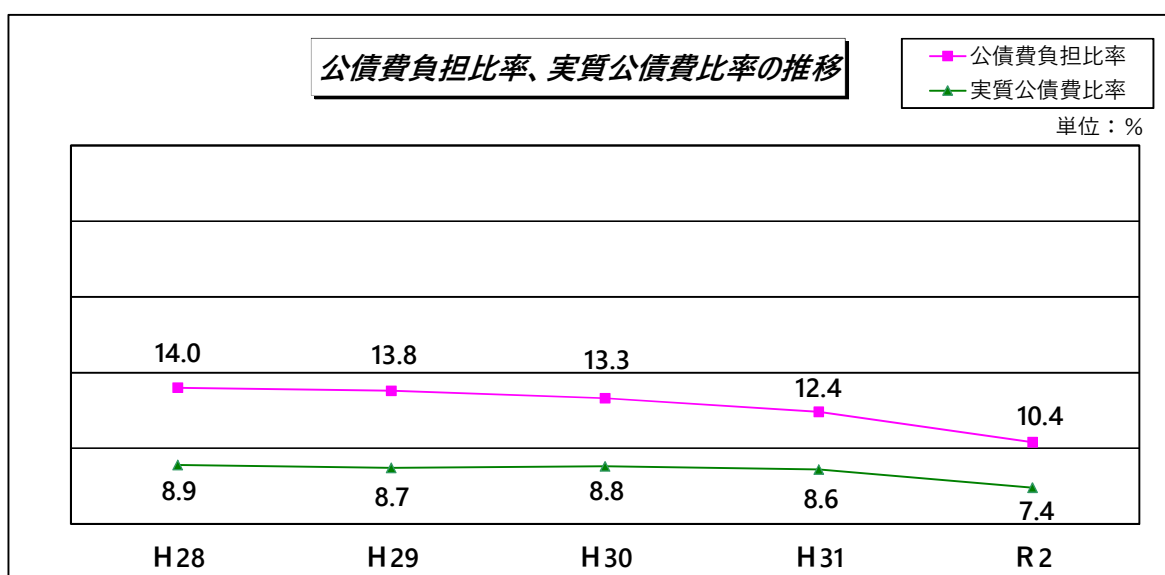
○ 実質公債費比率の状況

普通会計における町債の元利償還金のほか、公営企業会計及び一部事務組合等における町債の元利償還金に対する普通会計からの負担金や償還金的な債務負担行為額なども加えた実質的な公債費指標であり、25%が早期健全化団体、35%が財政再生団体となる基準となっています。

令和2年度決算では、美幌町は7.4%で管内平均（加重平均）及び道内類似団体平均よりは低いものの、全道平均より高い数値となっていることから、今後も特別会計を含めて歳入確保、歳出削減、町債の新規発行を抑制するなど、健全で持続可能な財政運営を行っていきます。

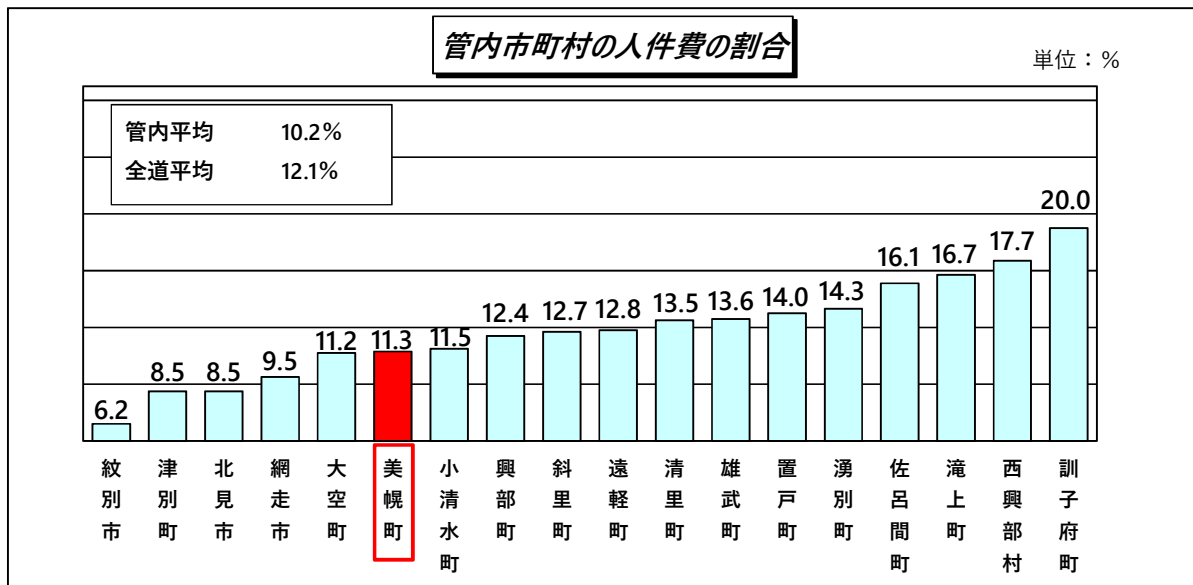
※早期健全化団体：破綻の一手手前の状況で早期に財政の立て直しが必要な団体

※財政再生団体：いわゆる「赤字再建団体」で破綻状態に陥った団体



14 人件費の状況

歳出総額に対し、職員給与費・議員報酬などの人件費がどのくらい占めているかを見ますと、令和2年度決算では、美幌町は11.3%と管内で割合の低い方から6番目に位置しています。

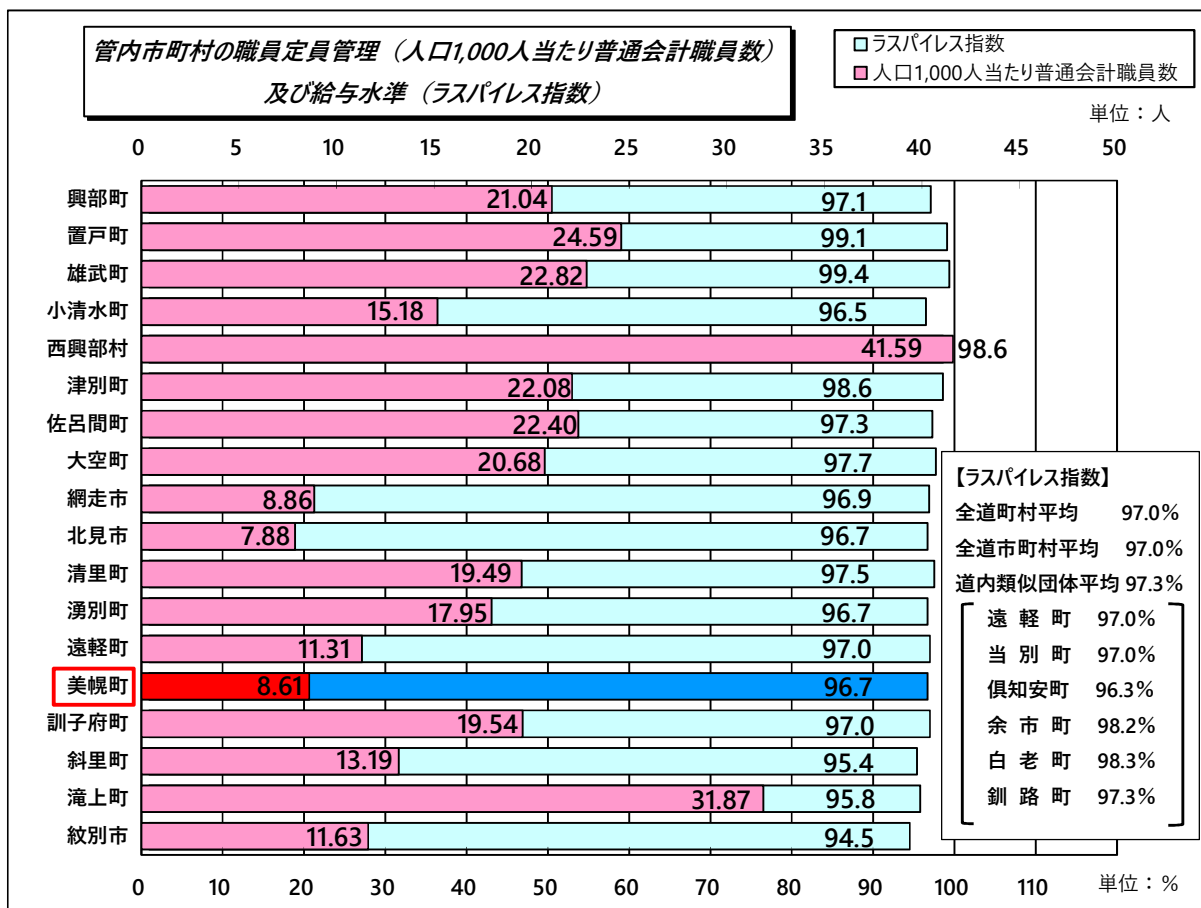


美幌町の人口1,000人当たりの普通会計職員数は8.61人となっています。

また、給与水準（ラスパイレ指数）は96.7%となっており、全道町村平均を下回っています。

※普通会計職員数及びラスパイレ指数は、令和3年4月1日現在

※ラスパイレ指数...地方公務員と国家公務員の平均給与額を、国家公務員の職員構成を基準として、一般行政職における学歴別、経験年数別に比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示した指数。

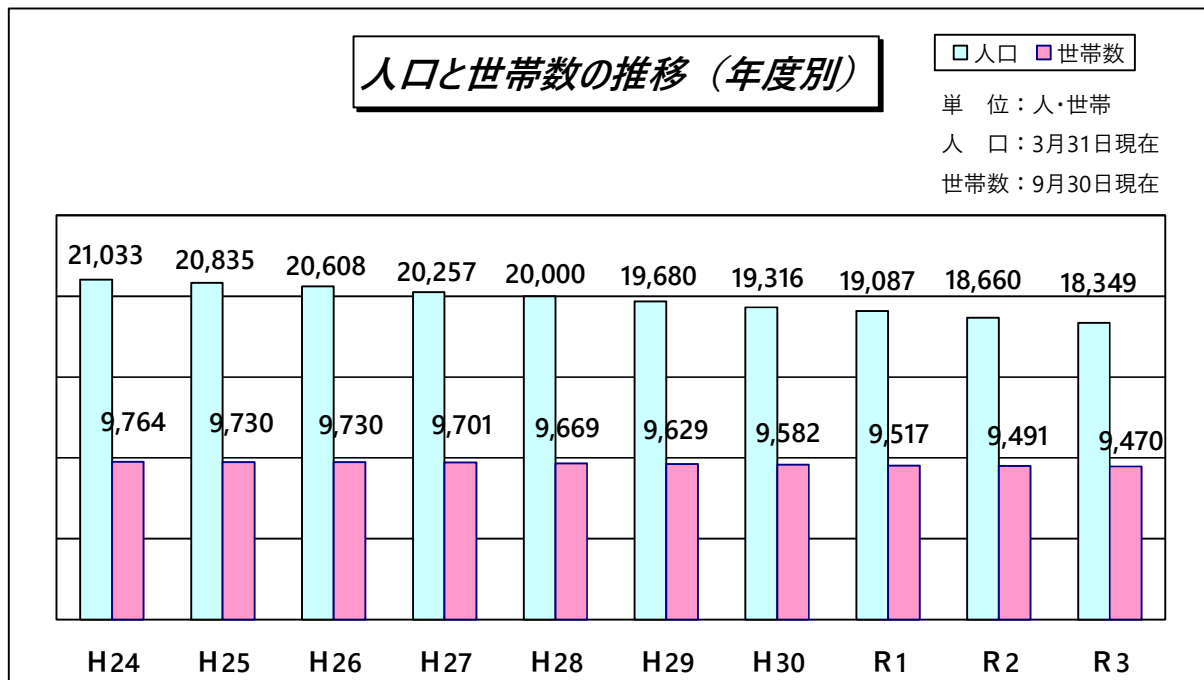


15 人口及び世帯数の推移

人口は、平成以降で最も人口が多かった平成元年度の25,825人から減少傾向が続き、平成29年度には19,680人と2万人を切り、令和3年度では18,349人となっています。また、世帯数も減少傾向が続いています。

第6期美幌町総合計画では、令和8年度の将来人口を18,000人と想定しており、今後も生産年齢人口の減少や少子高齢化が加速することが懸念され、人口減少対策は重要な課題となっています。

※参考：過去に最も人口が多かったのは、昭和35年9月末の28,616人



おわりに

本町の財政状況は、平成24年に策定した「第2次美幌町財政運営計画」に基づき、中長期的な財政見通しの下、財政の健全化に向けた取り組みを強化してきた結果、概ね健全な状態となっておりますが、人口減少を背景とした町税・地方交付税などの歳入の減少が見込まれる中で、歳出では、老朽化した公共施設の整備、高齢化による社会保障関連経費の増加などが避けられない課題となっており、さらには、継続して新型コロナウイルス感染症の暮らしや経済への影響が懸念され、将来を見据えながら効率的・効果的な行政サービスの維持・提供を図っていく必要があります。

新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、人口減少対策など本町を取り巻く様々な課題を克服し「美幌の活力を高め、次代につなげるまちづくり」の実現に向けて、行財政運営に最大限の努力を重ねて参りますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和 4 年グラフで見る財政状況

(令和 4 年 5 月作成)

※本書は、地方財政状況調査（決算統計）、各会計決算書、国勢調査、オホーツク総合振興局地域創生部地域政策課市町村係提供資料等に基づき作成しています。

(お問合せ先) 美幌町役場 総務部財務課財務グループ

電話：0152-73-1111（代表）内線：2151、2152、2153

0152-77-6530（直通）

FAX：0152-72-4869

メール：zaimug@town.bihoro.hokkaido.jp